

令和7年度学校経営の全体構想

笠松中学校の課題

- 自立力（たくましさ）の育成
- 共生力（つながる力）の育成
- 健康・安全・体力の保持増進
- 地域・家庭との連携
- 不登校・別室生徒の支援
- 学びにおける主体性の確立

基本理念

様々ななかかわりの中で学び、社会の一員として貢献できる社会人の育成

- 「学ぶ力」「健康・安全の保持増進」
- 「豊かな人間性」「多様な学びの環境基盤」

羽島郡の課題

- 家庭や地域の信頼に応え、夢と希望を育む感動ある学校づくり
- 自ら意志を持ち生き抜くことができる力の育成
 - 変化や新たな価値を創造することができる力の育成
 - セーフティネットの構築・充実

学校の教育目標

目標を具現している生徒（目指す生徒）

たくましく 未来を切り拓く 生徒の育成

- ☆主体的に学習に取り組み、様々な課題解決に立ち向かう学ぶ力をもった生徒
- ☆自他への思いやりをもち、仲間や地域と共に歩む豊かな人間性をもった生徒
- ☆心身ともにたくましく、よりよい未来を築いていく力をもった生徒

経営の方針 対話の文化を育み、みんなで未来を創る学校経営

- 一人一人を大切に作る学校
- 地域と共に歩む魅力ある学校
- 校訓「真善美」

経営の重点 自立力・共生力・創造力を育む指導 キーワード：しかける～小さな挑戦～

- 個別最適な学び・探究的な学びへのしかけ
- 笠松町とコラボした「ふるさと教育」へのしかけ
- 健康安全・スポーツ文化活動へのしかけ
- 土台は日常生活「凡事徹底」4本柱（学習・清掃・合唱・ボランティア）

【自立力】

- 学習を調整し、他者と協働しながら、たくましく学ぶ生徒の育成を目指したしかけ
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・課題追究の場における指導・援助の工夫
 - ・ICTの効果的な活用法の追究
 - ・指導部会の充実
 - ・グループ研究会の実施
 - ・特別支援教育の充実
 - 生徒の主体性を引き出す学習集団づくり
 - ・年間指導計画の工夫
 - ・意図的かつ計画的な指導実践
 - ・授業リーダーに対する指導・援助の工夫
 - ・研究推進委員会、学習指導部会、特別活動指導部会の連携
 - ・学年部による見届けの充実
 - ・校内研修の充実

【共生力】

- 笠松町と共に「ふるさと教育」へのしかけ
- ふるさと教育の拡充
 - ・春祭り復活プロジェクト
 - ・ボランティア活動へ積極的参加
 - キャリア教育の充実
 - ・「生きる」を活用した進路指導
 - ・勤労体験等による生き方探究
 - ・各学年のキャリア研修
 - 「笠中4本柱」を核とした日常生活の充実
 - ・4本柱の質の向上（学習、清掃、合唱、ボランティア）
 - ・自治力を高める生徒会活動
 - ・生活や仲間関係の向上を図る学級経営の充実
 - 総合的な学習「若鮎」の意図的な取り組み
 - ・笠松を知る 地域理解1年
 - ・笠松で体験 地域参画2年
 - ・笠松に発信 地域・社会貢献3年
 - 人権教育の推進
 - ・人権講演会、人権研修
 - ・いじめ未然防止・早期発見

【創造力】

- 健康安全・スポーツ文化活動へのしかけ
- 地域と学校が連携した望ましい部活動の推進
 - ・社会人指導者の発掘
 - ・羽島郡地域クラブ推進協議会
 - ・スクールトレーナー導入
 - 健康・安全教育の推進
 - ・交通安全指導の継続
 - ・自己管理能力を育む健康教育
 - 地域学校協働活動の拡充
 - ・かさまつ未来塾との運営協力
 - ・学校運営協議会との連携
 - ・笠松町文化協会との連携（鮎鮎街道・笠松文芸祭）
 - ・PTAとの連携
 - ・笠中80周年記念に向けて
 - 開かれた学校
 - ・かさまつ町あいさつ運動
 - ・道徳教育の継続（道徳の町かさまつ）
 - ・ホームページによる学校の魅力発信「ぺんぺん草」
 - ・地域住民を巻き込んだ対話（集会・意見交換会）

【重点目標を支える学校体制 ～しあわせ・やりがい・気持ちよさを感じる職員集団～】 チーム笠松中

- 学校・家庭・地域の連携 「学校運営協議会」「PTA 役員会」「SNS を利用した情報発信」
～すぐる情報発信・ホームページ「ぺんぺん草」～
- 安心・安全な体制づくり 「人権教育」「防災・交通安全教育」「規範意識の醸成」「校内環境整理整」
- 職員の資質向上 「不祥事根絶研修」「校内研修・外部研修会への参加」「異校種間との連携・交流」
「危機管理マニュアルの周知・アップデート」
- 健康管理と勤務環境の改善 「備品等安全点検」「校務DXの推進」「勤務実態の把握」「職員家族配慮」
「教職員の心と身体の健康（ライフワークバランス）」